

- ミッション1：豊かな心の育成**  
教科化される道徳の時間等を活用し、子どもたちの豊かな情操や規範意識、自らを認め相手を思いやる心の醸成を図るとともに、震災により心の健康問題を抱える子どもたちの気持ちに寄り添ったケアを継続します。
- ミッション2：健やかな体の育成**  
体力・運動能力の向上とともに、児童生徒自らが体をつくる食に対する関心や知識の醸成、健康や生活習慣への関心を高める取り組みを進めます。
- ミッション3：確かな学力の育成**  
幼児期からの切れ目のない教育による入学時などの環境変化への対応力育成、個に応じたきめ細かな指導による児童生徒の学習意欲の向上により、基礎的知識の定着や応用力の育成を図ります。
- ミッション4：未来の創り手となるための力の養成**  
急激な社会的変化の中でも、夢を実現しようとする意思や意欲を持ち、個性や能力を生かしながら、何が重要かを主体的に判断できる未来の創り手となるために必要な知識や力の養成を目指します。
- ミッション5：震災の教訓を生かした防災対応力の育成**  
学校の地域特性等を踏まえ、自助・共助などの防災対応力を養い、災害に負けない子どもを育成し、未曾有の災害で得た教訓・復興への取り組みを語り継ぐため、独自の防災教育を推進します。
- ミッション6：多様なニーズに対応した教育の充実**  
障害のある子どもや日本語が話せない子どもなどの多様なニーズに応じた支援と子どもたちへの障害に対する理解を深め、インクルーシブ教育システムの実現に向けた取り組みを進めます。

- ミッション1：人と社会をつなぐ多様な学びの機会の充実**  
すべての市民が生涯を通じて学び、豊かな人生を送ることができるよう、充実した多様な学びの機会を提供するとともに、市民の主体的な学びを支援します。
- ミッション2：多様な社会教育施設による多彩な学びの充実**  
社会教育施設それぞれの特性に応じた施設運営を継続するとともに、施設の専門性を生かしながら相互に連携し、多面的な学びの場を提供するなど、多彩な学びの充実を目指します。
- ミッション3：学びの成果を生かし人と人がつながる仕組みづくり**  
自ら学んだ知識や経験を、地域のまちづくり等へ成果として生かし還元できる機会を提供し、人と人がつながる仕組みづくりを支援します。
- ミッション4：豊かな資源を活用した学びの提供・魅力の発信**  
豊かな自然や伝統ある歴史、多くのミュージアムなど、多様な学びの資源を活用し発信することで、誰もが仙台に住みたい、住み続けたいと思える学びの機会にあふれた魅力あるまちを目指します。

基本的方向1：学校教育

基本的方向2：生涯学習

基本的方向3：地域・家庭

基本的方向4：教育環境

- ミッション1：地域とともに歩む学校づくりの推進**  
地域団体や企業など多様な主体がネットワーク化を図りながら、学校・地域・家庭が連携・協力し、学校で起こる問題を一体となって解決を図り、子どもの豊かな育ちを支える体制づくりを進めるとともに、地域の将来を担う人材の育成を目指します。
- ミッション2：親子のふれあいの機会や家庭教育を考える場の提供**  
親子がともに学びふれあう機会を提供するとともに、親自身が家庭での子育てやしつけについて学び、考える機会の充実を図るなど、家庭教育力の向上を支援していきます。
- ミッション3：地域を支える人づくりと地域づくりへの貢献**  
地域における豊かな学びの循環により地域を支える人材が育成されるよう支援を進め、地域づくりへの貢献を目指します。



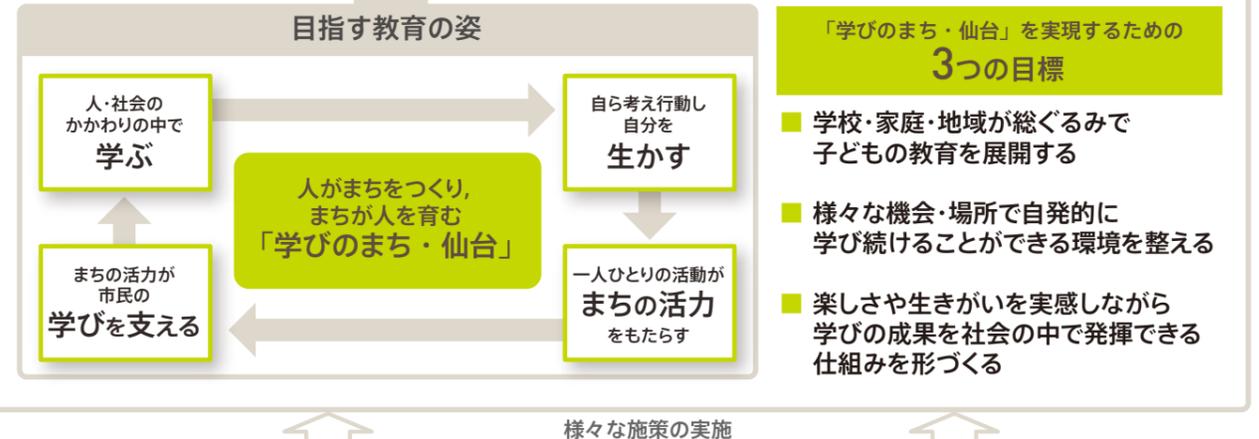
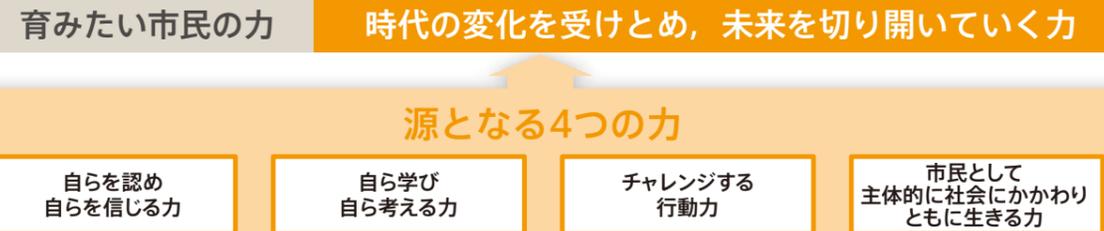
- ミッション1：教職員がより子どもに向き合える体制づくり**  
多様化する教育ニーズに的確に対応するため、教職員の多忙化解消を推進し、教職員がこれまで以上に子どもたち一人ひとりとしっかりと向き合える体制づくりを進めます。
- ミッション2：教員の資質向上と即戦力となる教員の採用**  
教科に関する専門的知識や様々な教育課題に対応する指導力を高め、使命感と責任感をもって子どもたちに向き合うことができるよう、教員の資質向上を目指すとともに、熱意と志をもった即戦力となる教員の採用を行います。
- ミッション3：子どもたちの安全・安心の確保**  
地域の協力のもと、常に大人が見守ることで、児童生徒の登下校時の不安を取り除き、学校生活に全力で打ち込める環境づくりを進めるため、学校・家庭が一体となって子どもの安全を守る取り組みを強化します。
- ミッション4：安全・安心な学びの場の提供**  
児童生徒や市民が安全・安心に学ぶことができ、快適で利用しやすい魅力的な学びの環境づくりを目指すとともに、施設の長寿命化を図るため、計画的かつ効果的な施設の維持修繕等を行います。
- ミッション5：ICT教育環境の整備・充実**  
主体的・対話的な深い学びを通して、児童生徒が情報や情報手段を主体的に選択し活用していく力を育成するため、ICT教育環境の充実を図ります。
- ミッション6：学びのセーフティネットの充実**  
震災による影響もあり、経済的に困難な状況にある世帯が増加していることから、児童生徒の学びに支障のないよう、必要な支援を適切に行います。

策定の趣旨

- 第1期計画の推進**  
仙台市教育委員会では、教育基本法第17条に基づき、平成24年3月に仙台市教育振興基本計画を策定し、目指す教育の姿「人がまちをつくり、まちが人を育む『学びのまち・仙台』」の実現のため、教育行政を推進してきました。
- 教育をめぐる現状等**  
この間、東日本大震災からの復旧・復興とともに、地域総ぐるみで学びを展開する体制づくりを進めるなど、目指す教育の姿の実現に向けた成果が現れつつある一方で、本格的な人口減少社会の到来やICT環境の著しい進展といった社会情勢の変化に加え、本市においていじめの問題を背景とした自死事案が発生し、最優先に対応しなければならない課題となるなど、本市の教育を取り巻く環境は大きく変容しています。
- 国の動向等**  
また、国においては、第2期教育振興基本計画を策定するとともに、いじめ防止対策の法制化や教育委員会制度の見直しなど様々な教育制度改革が実施され、本市においても平成27年12月に「教育の振興に関する施策の大綱」が策定されました。

このような状況を踏まえ、目指す教育の姿の実現に向け、平成29年度から33年度までの5年間の施策の方向性を示す「第2期仙台市教育振興基本計画」を策定しました。

目指す仙台の教育の姿



- 「学びのまち・仙台」を実現するための3つの目標
- 学校・家庭・地域が総ぐるみで子どもの教育を展開する
  - 様々な機会・場所で自発的に学び続けることができる環境を整える
  - 楽しさや生きがいを実感しながら学びの成果を社会の中で発揮できる仕組みを形づくる

計画の推進体制

**計画の進行管理**

定期的な点検と、その結果のフィードバックによる進行管理を行います。

**多様な主体との連携・協働の推進**

各種団体・企業・大学など、多様な主体とこれまで以上に相互の連携を強化し、各主体が持つノウハウや情報・課題の共有を図り、効果的な事業の展開を進めていきます。

**課題やニーズに応じた的確な対応**

刻々と変化する課題やニーズを解決するために状況や情報を迅速に把握し、取り組まなければならない対策を判断し、的確な対応に努めていきます。

**情報の発信**

分かりやすく丁寧な情報提供のため、さらにホームページ等の充実・活用を図りながら、積極的な情報の発信に努めていきます。

# 第2期計画における基本的方向

目指す仙台の教育の姿の実現に向け、基本的方向を4つに分類するとともに、仙台独自の取り組みや特色ある施策を「仙台カラー」と位置づけ、その中でも「仙台ならではの」の6つの施策を今後5年間で重点的に推進します。

【構成のイメージ】



仙台ならではの学びを、次世代へ。

## 「仙台カラー」をより色濃くする6つの重点施策

カラー 1 **命と心を守り育む教育**

いじめ問題や自死、震災後の心のケアの重要性から、命を守り、心を育む教育を推進するとともに、子どものより良い学び・豊かな教育環境を創出するため、これまで以上に教職員が子どもに向き合える体制づくりを進めます。

- 命を大切にする教育を進めます。
- 心の健康教育を推進します。
- 教職員がより子どもに向き合える体制づくりを進めます。

カラー 2 **未来に向けた「仙台自分づくり教育」**

人や社会の関わりを大切にしながら、社会的・職業的に自立し、たくましく生きる力を育むため、仙台版キャリア教育「仙台自分づくり教育」を一層推進します。

- 企業とともに子どもの勤労観・職業観を育みます。
- 未来に向けた子どもの夢や力を育む学びを進めます。

カラー 3 **安心を創る「仙台版防災教育」**

震災直後から取り組んできた本市独自の防災教育を一層推進します。

- 震災の教訓を未来へ引き継ぎます。
- 災害に負けないたくましい子どもを育てます。

## 「仙台ならではの」の施策の推進「仙台カラー」

- **資源豊かなまちに育まれてきた「仙台ならではの」教育**  
市内各所にある市民センターや昭和24年から続く社会学級における活動、学校や社会教育施設におけるボランティアをはじめとする市民主体の多様な活動は、城下町という由緒ある歴史の中で育まれた独自の文化や伝統、豊かな自然、多くの大学や企業の集積などの多様な資源によって生まれ、着実に広がりを見せています。  
こうした資源や人材・活動を学びの資源としてさらに生かし、本市における新たな課題や社会環境の変化も踏まえた取り組みを一層進めることが求められています。
- **教訓を契機として生まれた「仙台ならではの」教育**  
未曾有の被害をもたらした東日本大震災から私たちは多くの教訓を学び、復興の取り組みを通じて貴重な経験を得ました。このことを決して忘れてはならず、本市独自の防災教育により、後世の子どもたちに伝えていかなければなりません。  
また、いじめを背景として生徒自らが尊い命を絶つという痛ましい事案が起き、集中的かつ総合的な対策によりいじめ防止に全力で取り組んでいますが、二度と悲しい事案が起きることのないよう、いじめのない学校づくりを目指し、さらにこの歩みを進める必要があります。
- **地域とともに歩む「仙台ならではの」教育**  
「学校支援地域本部」の全市展開により、地域ぐるみによる学校教育活動への支援体制が確立され、地域の人材を生かした豊かな授業づくりや体験活動の充実、学校を介した交流の広がりも見られます。今後も本市独自の制度である「嘱託社会教育主事」の活用や、地域の特色を活かした活動を展開している「放課後子ども教室」の充実を図りながら、「地域とともに歩む学校づくり」を推進していく必要があります。
- **「仙台ならではの」教育を「仙台カラー」として次の世代へ**  
これまで積み重ねてきた仙台ならではの教育は、「仙台カラー」として次世代にも受け継ぎ、進めていきたい取り組みです。こうした様々な「仙台カラー」の取り組みの中で、今後5年間は6つの施策を重点的に推進していきます。

カラー 4 **連携・協働により広がる「地域とともに歩む学校づくり」**

学校・家庭・地域が一体となって子どもを育む体制づくりを一層推進します。

- 地域・家庭と学校の連携・協働の体制づくりを進めます。
- 学校支援地域本部の充実を進めます。

カラー 5 **アート・学びによる地域発見プロジェクト**

アートの持つ力や様々なミュージアムが持つ魅力を生かしながら、新たな学びの機会の創出や地域人材の育成を進めます。

- アートプロジェクトによりまちの魅力と活気を引き出します。
- 「ミュージアム」における多面的な学びの機会を創出します。

カラー 6 **伊達な歴史・伝統文化による魅力発信プロジェクト**

仙台藩祖伊達政宗公によって育まれた独自の伝統文化やその歴史の効果的な発信・活用を進め、地域の活性化を図ります。

- 「政宗が育んだ“伊達”な文化」の魅力を発信します。
- 市民や観光客が親しみ楽しめる仙台城跡の活用を進めます。